

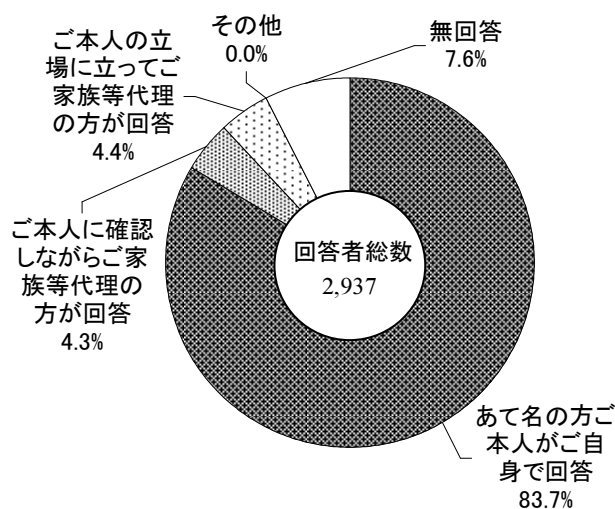
第2章 一般高齢者調査の結果

I 回答者の属性

1 調査の回答者

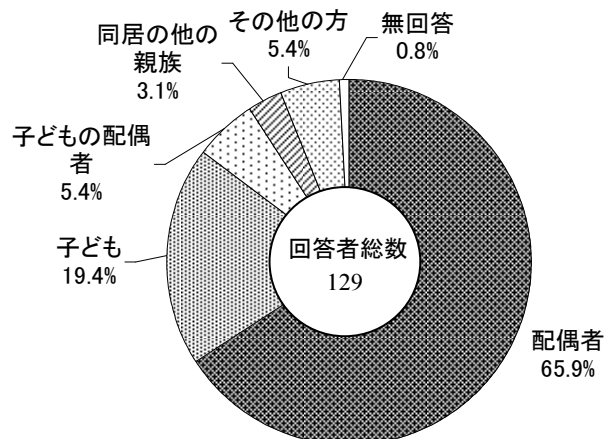
問1 この調査票はどなたが回答されますか。

調査票の回答者は、「あて名の方ご本人がご自身で回答」が83.7%、「ご本人に確認しながらご家族等代理の方が回答」が4.3%、「ご本人の立場に立ってご家族等代理の方が回答」が4.4%であり、本人による回答が8割半ばを占めている。



【本人の立場に立って家族等代理の方が回答した場合の回答者】

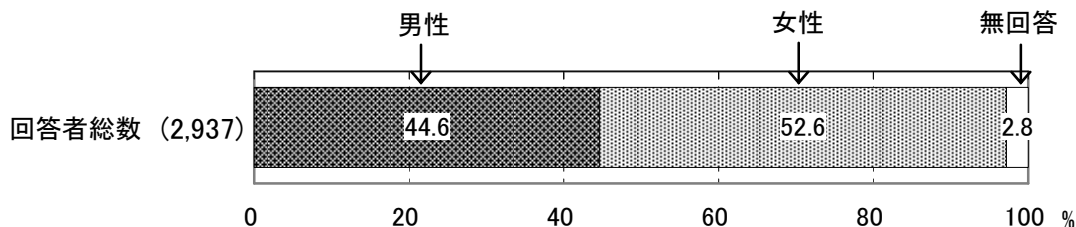
本人の立場に立って家族等代理の方が回答した場合の回答者は、「配偶者」が65.9%、「子ども」が19.4%、「子どもの配偶者」が5.4%、「同居の他の親族」が3.1%となっている。



2 性別

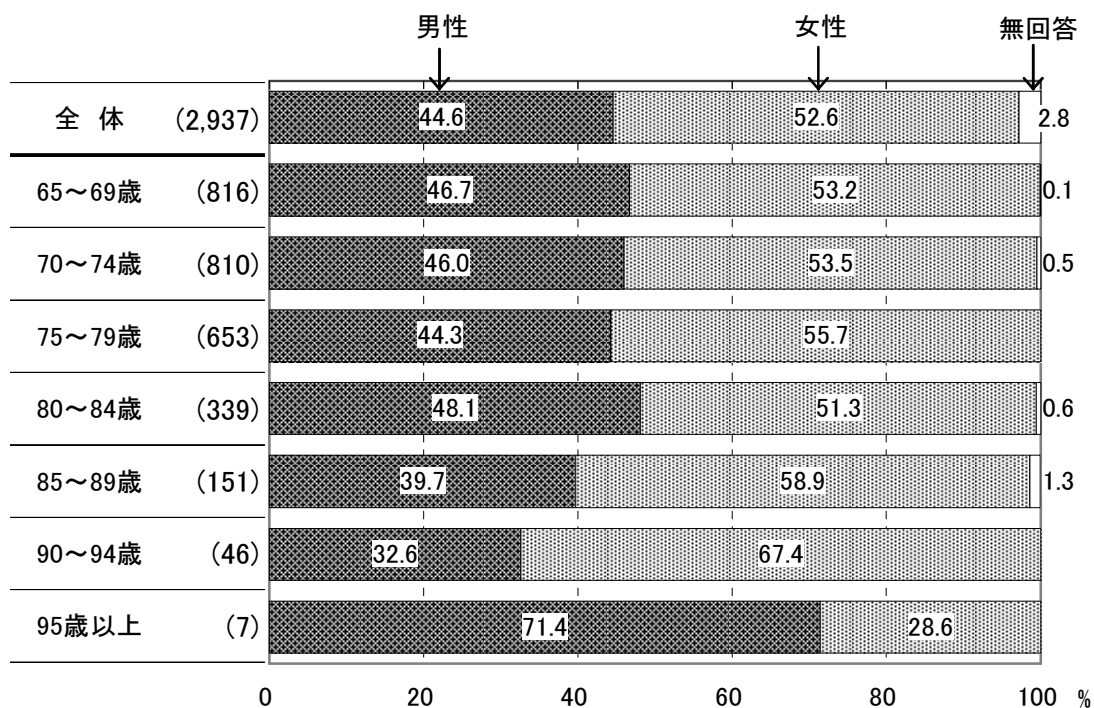
問2 性別をお答えください。

性別は、「男性」が44.6%、「女性」が52.6%と男性より女性の方がやや多い結果となっている。



【年齢区分別／性別】

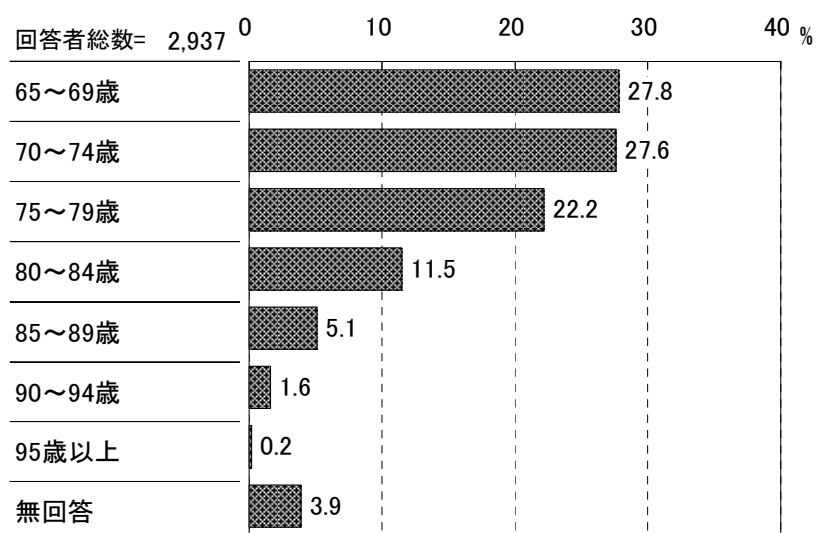
年齢区分別にみると、65歳から84歳にかけて女性が5割強と男性をやや上回っているが、85歳～94歳では年齢区分が上がるにつれて女性の占める割合が高くなっていく。



3 年齢

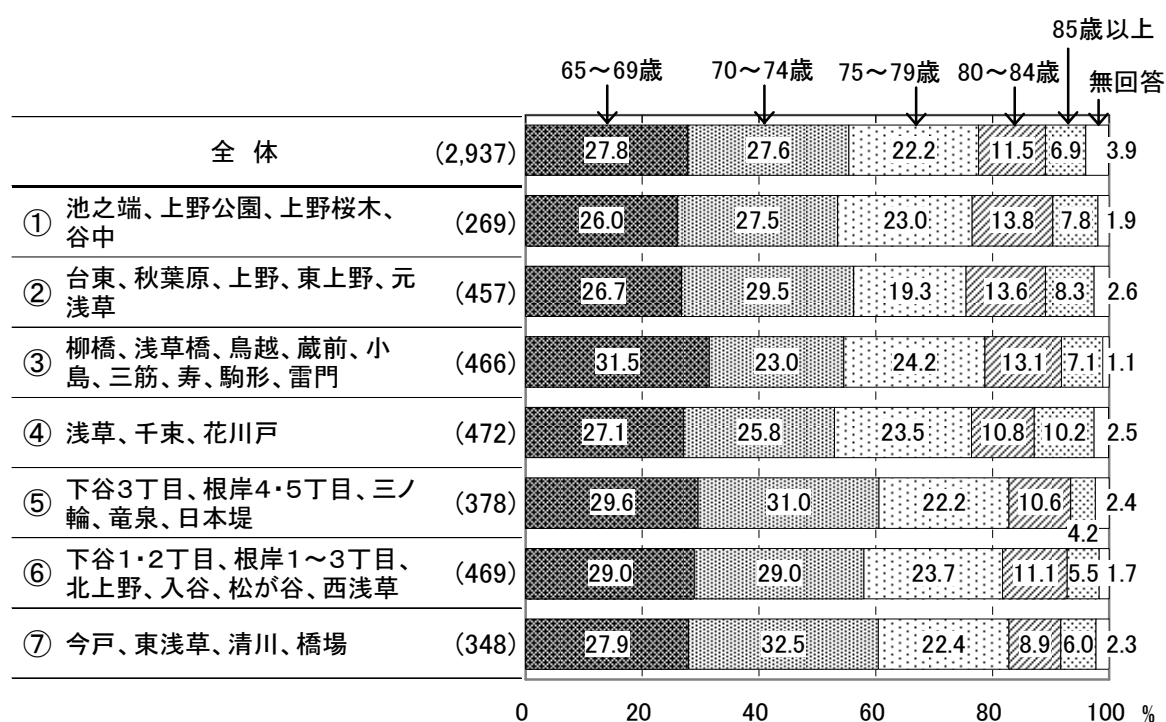
問3 今、年齢はおいくつですか。

年齢は、「65歳～69歳」が27.8%、「70歳～74歳」が27.6%、「75歳～79歳」が22.2%、「80歳～84歳」が11.5%、「85歳～89歳」が5.1%、「90歳～94歳」が1.6%、「95歳以上」が0.2%であり、65歳から74歳までの前期高齢者が55.4%と半数を超え、75歳以上の後期高齢者は40.6%となっている。



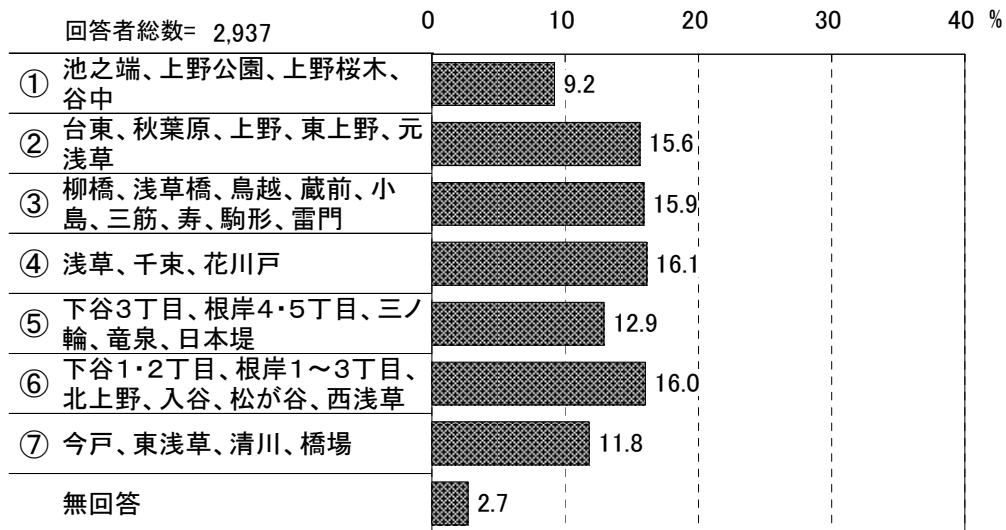
【居住地域別／年齢区分】

居住地域別にみると、年齢区分において特に顕著な差はみられず、地域によって大きな偏りはない結果となっている。



4 居住地域

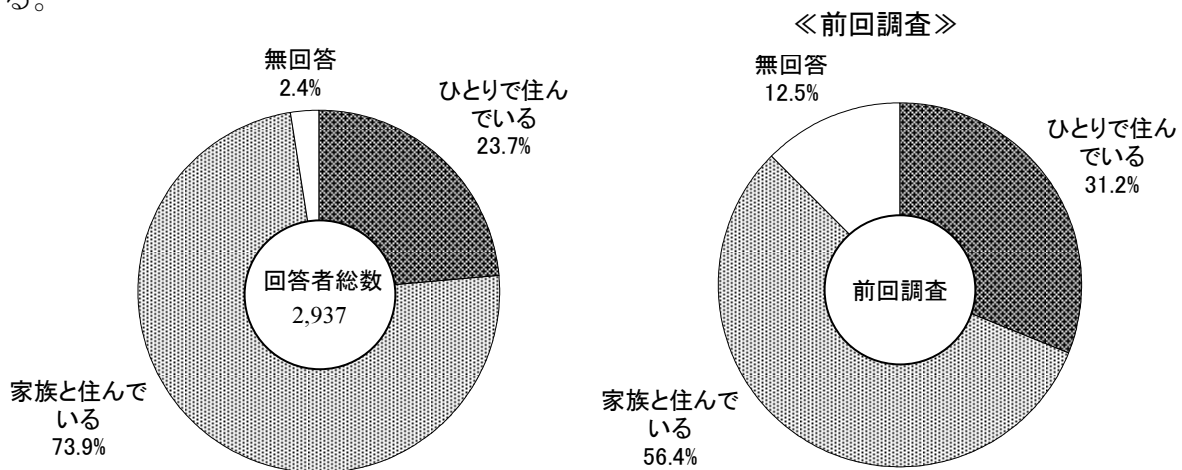
問4 お住まいはどちらですか。



5 居住環境

問5 現在、同居されているご家族はあなたを含めて何人ですか。

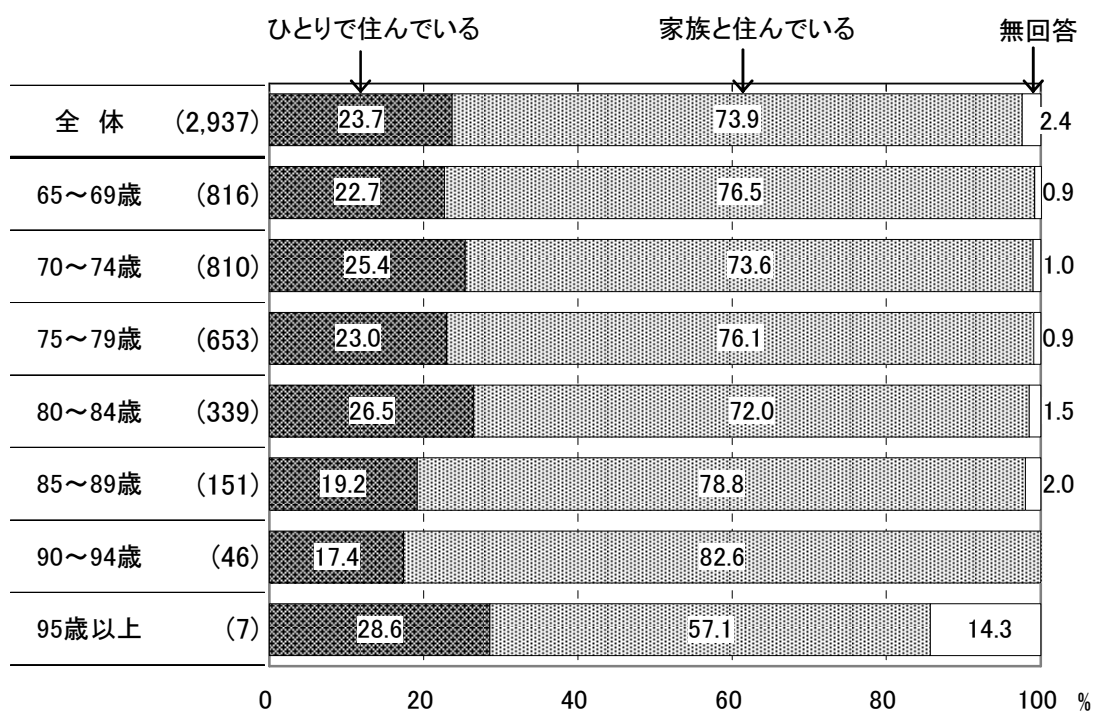
居住環境は、「ひとりで住んでいる」が 23.7%、「家族と住んでいる」が 73.9%であり、ひとり暮らしが2割強と前回調査の3割強と比較してやや割合が低くなっている。



※ 前回調査の選択肢は「ひとり暮らし」「夫婦のみ (ともに 65 歳以上)」「夫婦のみ (どちらかが 65 歳以上)」「二世帯住宅等その他の世帯と同居」

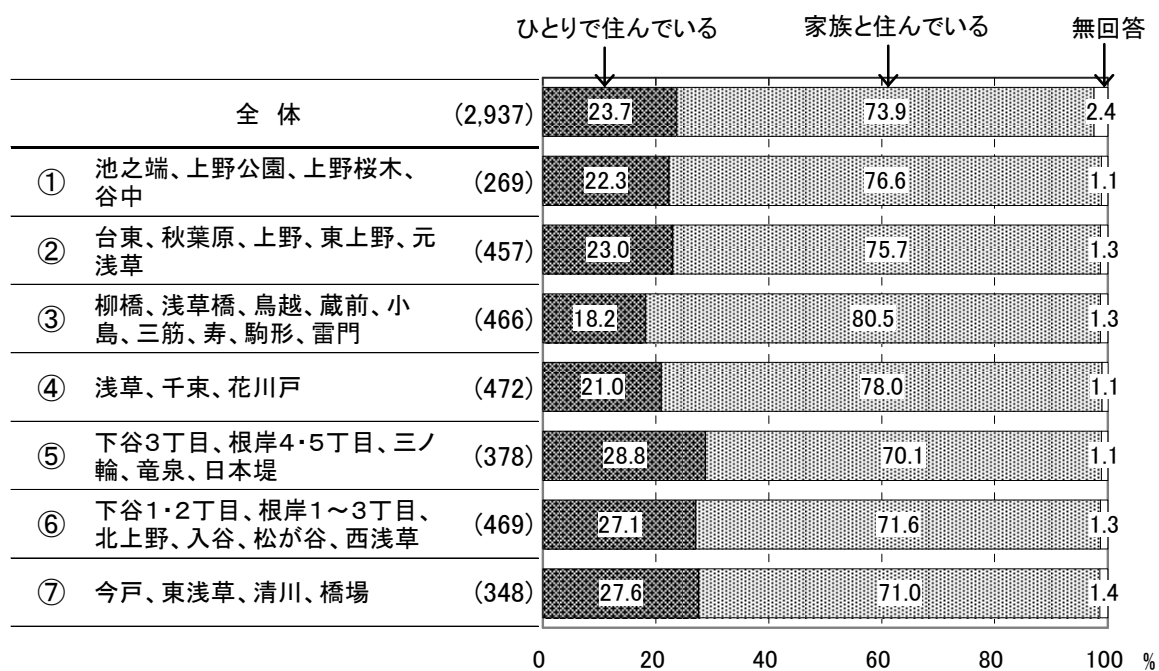
【年齢区分別／居住環境】

年齢区分別にみると、85歳から94歳にかけてひとり暮らしの割合が他の年齢区分と比べてやや低く2割弱となっている。



【居住地域別／居住環境】

居住地域別にみると、各地域とも全体と比較して特に顕著な差はみられないが、ひとり暮らしの割合が最も高い⑤の地域と最も低い③の地域とでは10ポイント以上の差がみられる。



【居住地域別／同居家族の人数】

同居家族の人数は、「2人」が50.8%と半数を超え、次いで「3人」が23.0%、「4人」が8.6%などとなっている。

また、居住地域別の同居家族の人数においては特に顕著な差はみられない。

	全 体	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		池之端、上野公園、上野桜木、谷中	台東、秋葉原、上野、東上野、元浅草	柳橋、浅草橋、鳥越、蔵前、小島、三筋、寿、駒形、雷門	浅草、千束、花川戸	下谷3丁目、根岸4・5丁目、三ノ輪、竜泉、日本堤	下谷1・2丁目、根岸1～3丁目、北上野、入谷、松が谷、西浅草	今戸、東浅草、清川、橋場
回答者数(人)	2,170	206	346	375	368	265	336	247
2人	50.8	49.5	50.0	51.7	46.5	50.6	53.9	54.3
3人	23.0	23.8	23.7	25.1	23.6	21.9	21.1	21.5
4人	8.6	11.2	9.8	5.6	10.6	10.2	8.3	5.7
5人	4.8	3.4	4.9	5.6	4.9	4.9	3.3	5.7
6人	3.4	1.5	3.5	2.7	4.1	4.2	3.0	4.9
7人	1.0	0.5	0.9	0.5	0.8	1.1	1.2	2.0
8人	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.8	0.0	0.0
9人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
11人	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
12人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14人以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
無回答	8.0	10.2	7.2	8.8	8.7	6.4	8.9	5.7

単位：%

【介護が必要になった場合に希望する暮らし方別／同居家族の人数】

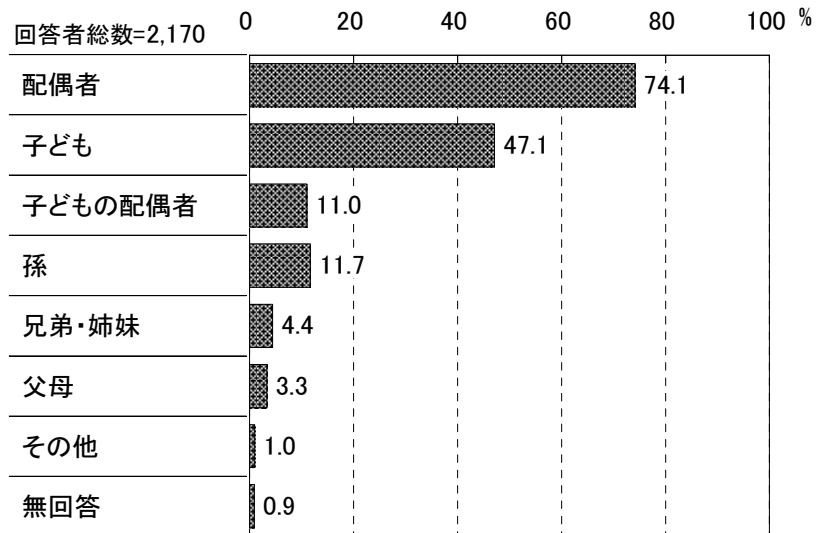
介護が必要になった場合に希望する暮らし方別にみると、対象者が11人と少ないものの、“子どもや親族の家に住み替えて、介護してもらいたい”の9割が二人暮らしとなっている。自宅で暮らしたい方について、家族介護を希望する方と介護サービス利用を希望する方で比較すると、家族介護による自宅暮らしを希望する方では二人暮らしの割合がやや低く、逆に同居家族の人数が3人や4人の割合が高くなっているが、介護サービス利用による自宅暮らしを希望している方では二人暮らしの割合が高くなっている。また、高齢者向け専用住宅や有料老人ホームなどを希望する方の6割強は二人暮らしとなっている。

		(%)						
		2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全体	2,170	50.8	23.0	8.6	4.8	3.4	1.2	8.0
主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	570	42.8	25.4	10.2	6.0	4.4	2.6	8.6
主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	629	56.0	21.6	7.6	5.7	3.2	1.1	4.8
子どもや親族の家に住み替えて、介護してもらいたい	11	90.9	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
段差などがない高齢者向け専用住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用して暮らしたい	95	64.2	15.8	5.3	2.1	1.1	2.1	9.5
グループホームなど数人で暮らせる、家庭的な介護つき住宅で暮らしたい	71	50.7	22.5	11.3	1.4	4.2	1.4	8.5
介護保険施設(特別養護老人ホームや老人保健施設など)に入りたい	155	50.3	26.5	6.5	6.5	3.9	0.0	6.5
有料老人ホームなどの介護つき住宅で暮らしたい	73	61.6	15.1	6.8	8.2	2.7	0.0	5.5
その他	22	59.1	27.3	9.1	0.0	4.5	0.0	0.0
わからない	274	45.3	25.9	10.9	4.0	1.8	0.4	11.7

問5-1 問5で「家族と住んでいる」と答えた方におうかがいします。
 現在、同居されているご家族はどなたですか。

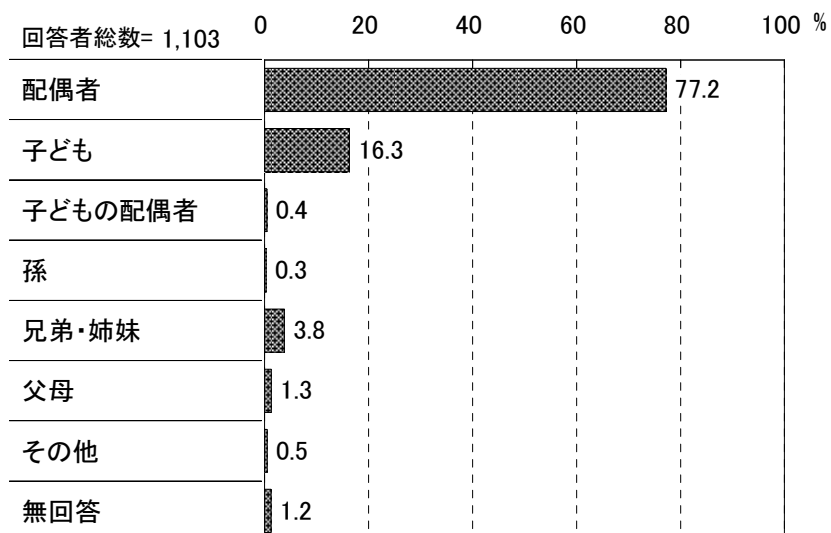
(あてはまるものすべてに○)

同居している家族は、「配偶者」が74.1%と最も多く、次いで「子ども」が47.1%、「孫」が11.7%、「子どもの配偶者」が11.0%などとなっている。



【二人暮らしの内訳】

二人暮らしの内訳は、「配偶者」が77.2%と最も多く、次いで「子ども」が16.3%などとなっている。



【年齢区分別／同居家族の内訳】

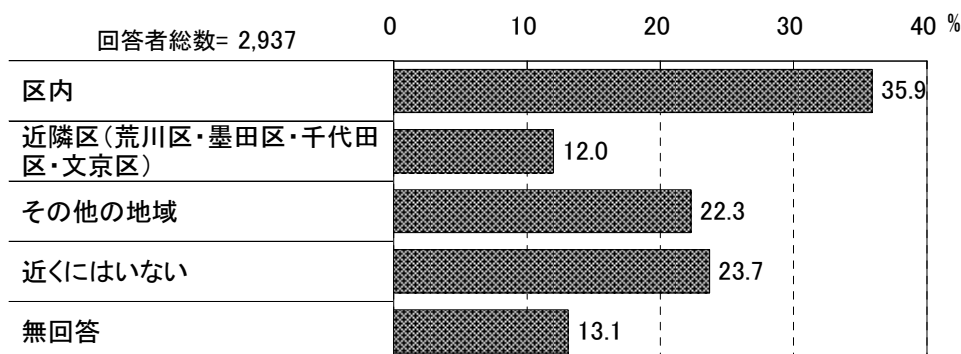
年齢区分別にみると、65歳から74歳にかけて8割前後が「配偶者」と同居している。一方、「子ども」と同居している方は、65歳から84歳にかけて5割に満たないが、“85～89歳”ではほぼ7割に上り、90歳以上ではさらに割合が高くなっている。

(%)

		配偶者	子ども	子どもの配偶者	孫	兄弟・姉妹	父母	その他	無回答
全体	2,170	74.1	47.1	11.0	11.7	4.4	3.3	1.0	0.9
65～69歳	624	80.9	46.8	5.9	6.1	5.6	7.9	0.5	1.1
70～74歳	596	79.5	39.8	9.6	9.7	5.4	2.7	1.0	0.5
75～79歳	497	72.8	46.7	11.7	14.3	3.6	1.0	1.0	1.0
80～84歳	244	67.6	48.4	14.8	14.8	2.9	0.0	0.8	1.2
85～89歳	119	48.7	69.7	27.7	23.5	1.7	0.0	0.8	0.8
90～94歳	38	26.3	84.2	23.7	26.3	2.6	0.0	13.2	0.0
95歳以上	4	25.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問5-2 近く（1時間以内で行き来できる場所）にお住まいのご家族はいますか。（あてはまるものすべてに○）

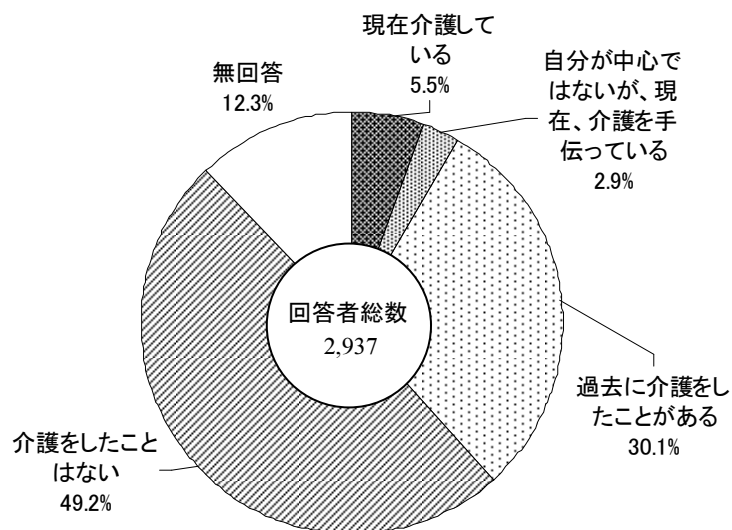
近くに住んでいる家族は、「区内」が35.9%と最も多く、「近隣区（荒川区・墨田区・千代田区・文京区）」が12.0%、「その他の地域」が22.3%となっている。また、「近くにはいない」は23.7%と2番目に多い回答となっている。



6 家族や親族への介護の状況

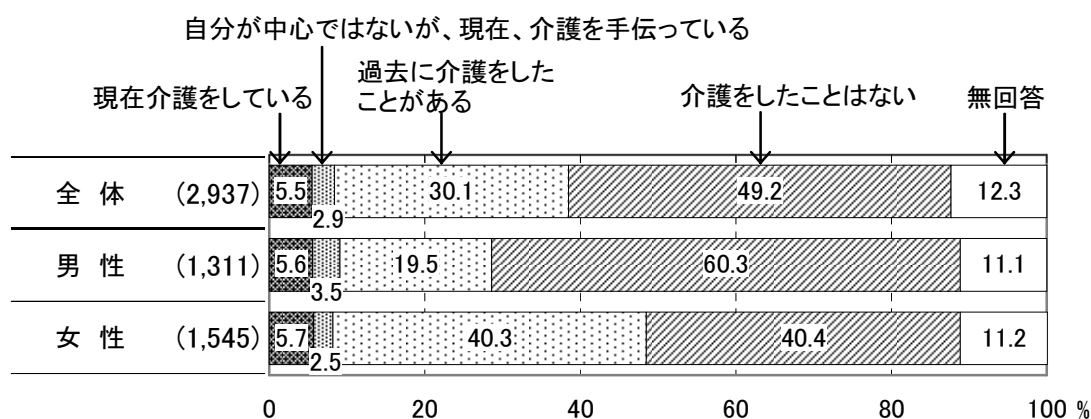
問6 あなたは、現在ご家族または親族等の介護をしていますか。

家族や親族への介護の状況は、「現在介護をしている」が5.5%、「自分が中心ではないが、現在、介護を手伝っている」が2.9%、「過去に介護をしたことがある」が30.1%、「介護をしたことはない」が49.2%となっている。



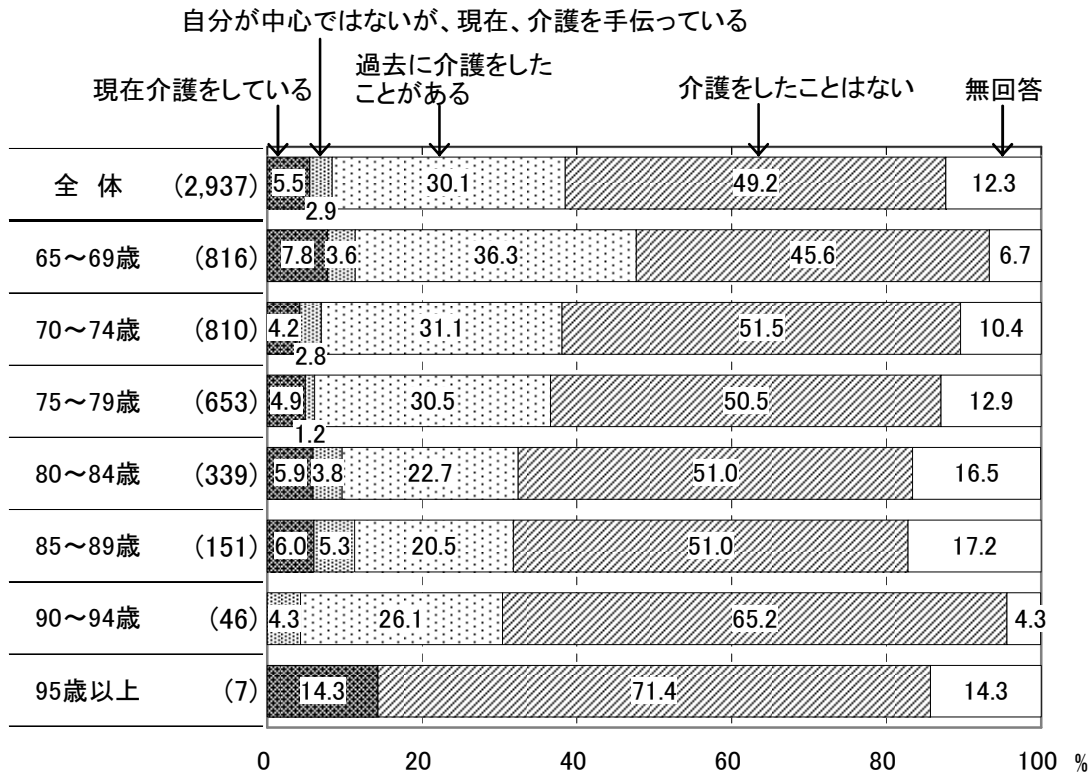
【性別／家族や親族への介護の状況】

性別にみると、女性のうち4割を超える方が「過去に介護をしたことがある」のに対して、男性は2割に満たず、現在、過去を問わず介護をしたことがない男性が6割を超えている。また、「現在介護をしている」では特に男女差はみられない。



【年齢区分別／家族や親族への介護の状況】

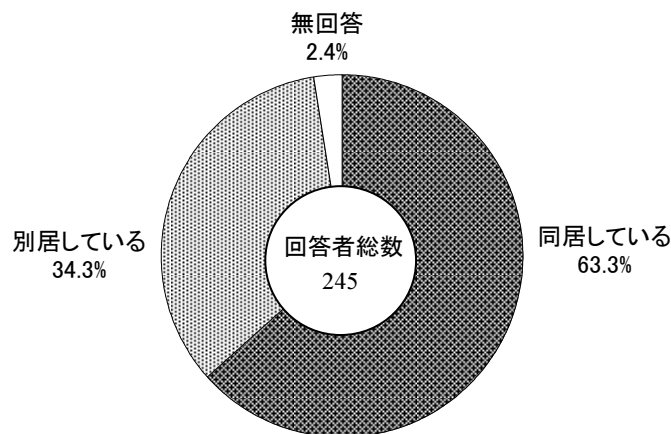
年齢区分別にみると、65歳から89歳にかけて、「介護をしたことはない」は5割前後であったが、90歳以上では7割前後を占めている。高い年齢区分ほど介護は未経験の傾向にある。



問6-1 問6で「現在介護をしている」または「自分が中心ではないが、現在、介護を手伝っている」と答えた方におうかがいします。※2人以上の方を介護している場合は、主に介護をしている方についてご回答ください。

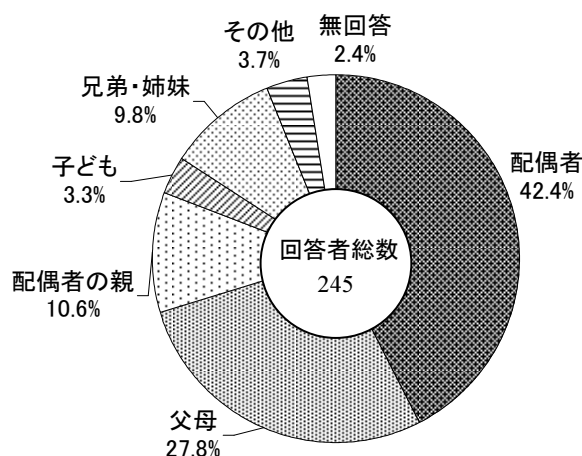
(1) 介護をしている方と同居していますか。

介護をしている方と「同居している」は63.3%、「別居している」は34.3%である。



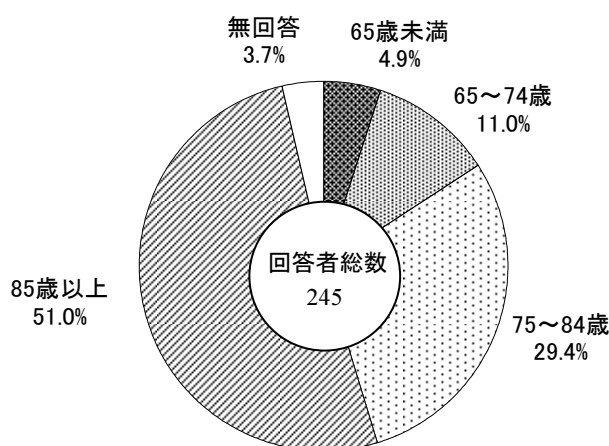
(2) 介護をしている方の続柄はあなたから見て、どなたにあたりますか。

介護をしている方の続柄は、「配偶者」が42.4%と最も多く、次いで「父母」が27.8%、「配偶者の親」が10.6%などとなっている。



(3) あなたが、介護をしている方はおいくつですか。

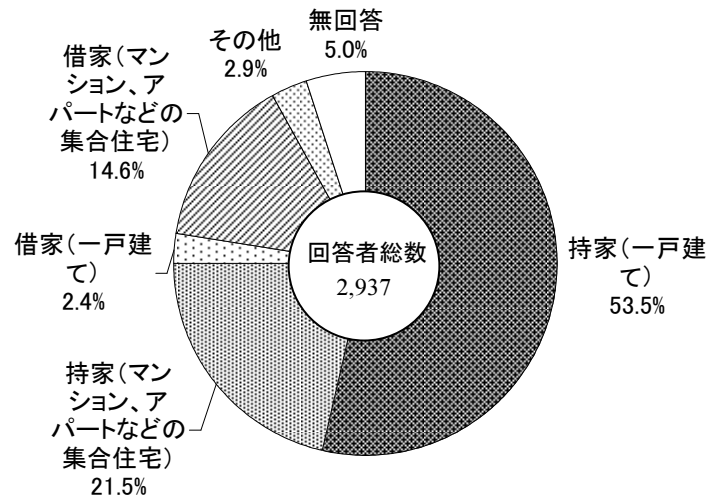
介護をしている方の年齢は、「85歳以上」が51.0%と半数を超え、次いで「75～84歳」が29.4%、「65～74歳」が11.0%、「65歳未満」が4.9%となっている。被介護者全体の8割強が75歳以上の後期高齢者であり、特に85歳以上である場合が半数を超えており、本区における高齢者が高齢者を介護するいわゆる「老老介護」の現状としては、被介護者は高齢者の中でも比較的高い年齢となっている。



7 住まいの形態

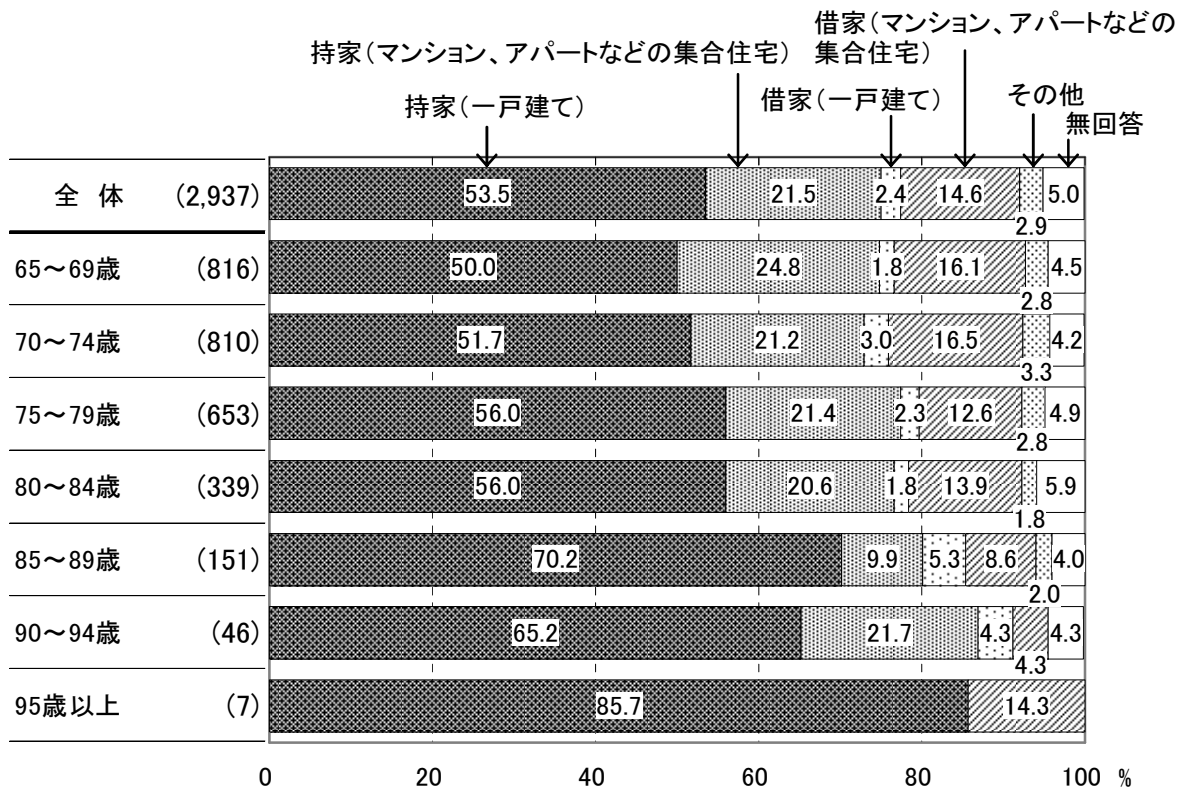
問7 お住まいは次のうちどれですか。

住まいの形態は、「持家（一戸建て）」が53.5%と半数を超え、「持家（マンション、アパートなどの集合住宅）」が21.5%、「借家（一戸建て）」が2.4%、「借家（マンション、アパートなどの集合住宅）」が14.6%となっている。一戸建て、集合住宅にかかわらず持家は7割半ばを占めている。また、3割半ばがマンションやアパートなどの集合住宅に住んでいる。



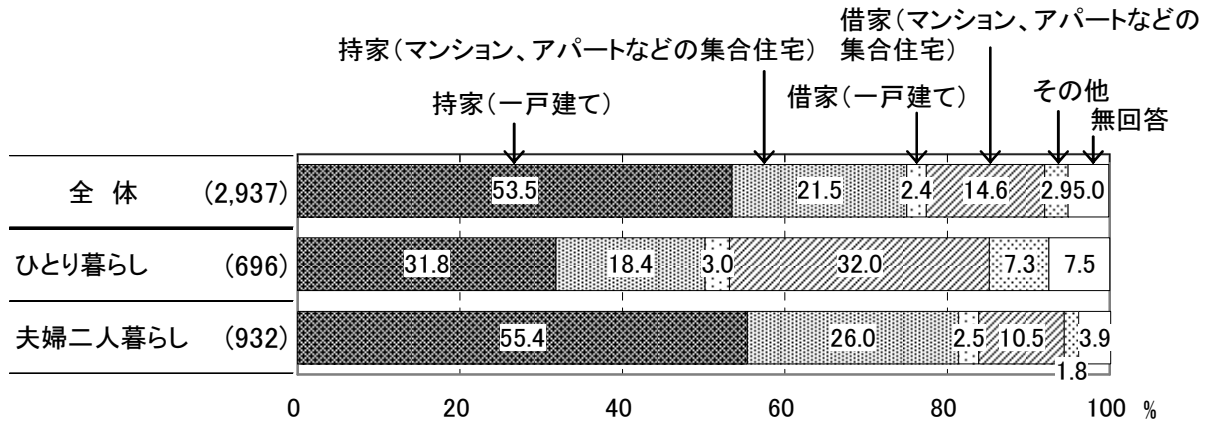
【年齢区分別／住まいの形態】

年齢区分別にみると、「持家（一戸建て）」の割合は年齢区分が高くなるにつれて高くなる傾向にある。



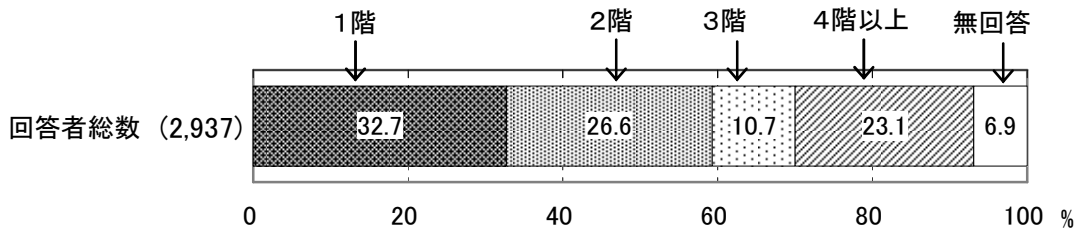
【居住環境別／住まいの形態】

居住環境別にみると、“夫婦二人暮らし”では一戸建て、集合住宅にかかわらず持家の割合が8割強を占めているのに対して、“ひとり暮らし”ではほぼ5割となっている。特に「持家（一戸建て）」は差が大きく、“夫婦二人暮らし”で5割半ばを占めているのに対して、“ひとり暮らし”では3割強となっている。



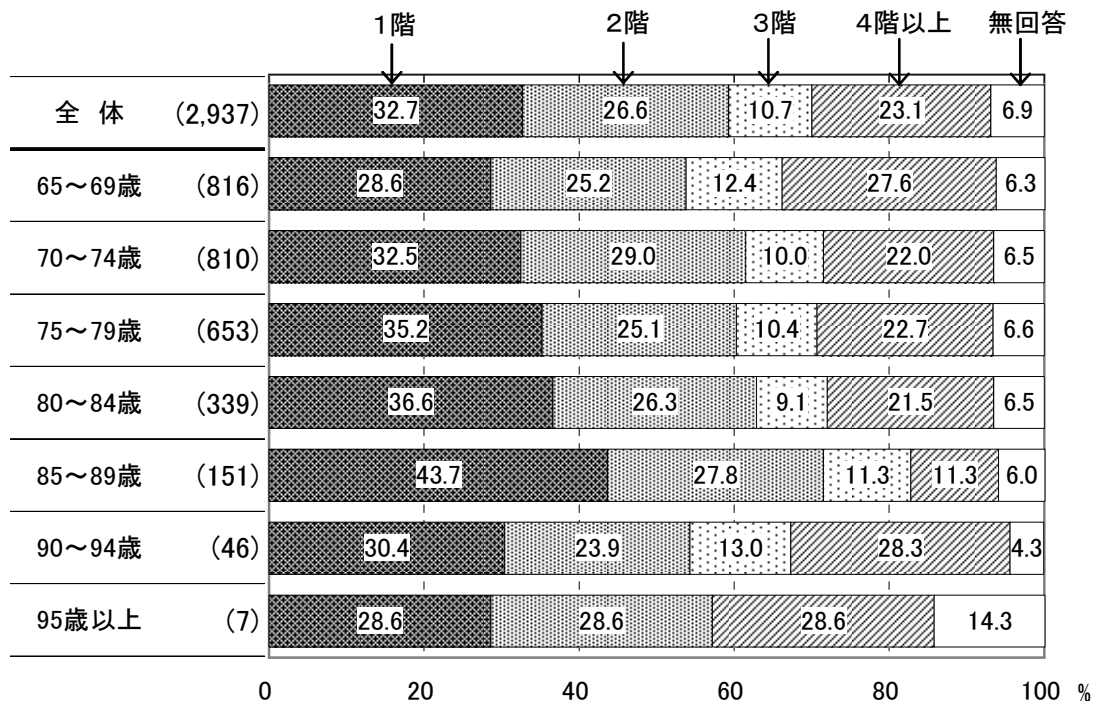
問7-1 ふだん、1日の中で主に過ごしている部屋は何階ですか。

主に過ごしている部屋の階数は、「1階」が32.7%、「2階」が26.6%、「3階」が10.7%、「4階以上」が23.1%となっており、6割を超える方が主に2階以上で1日を過ごしている。



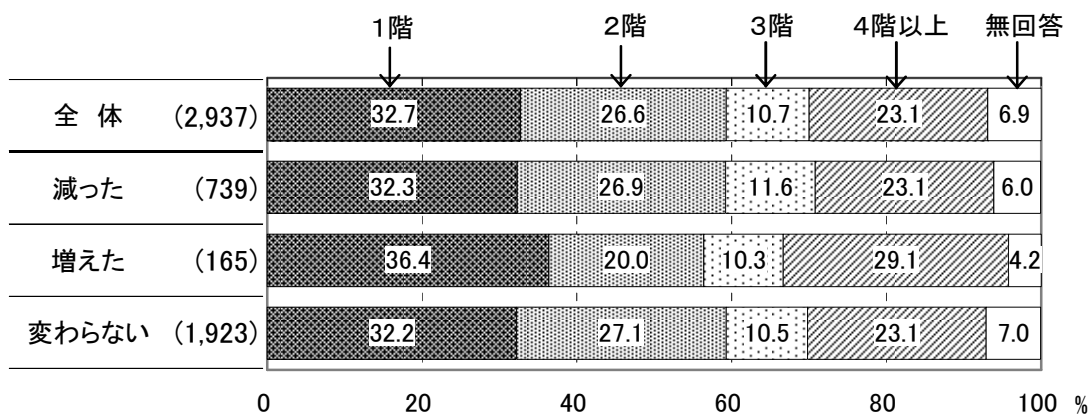
【年齢区分別／主に過ごしている部屋の階数】

年齢区分別にみると、「1階」で過ごしている方は、65歳から89歳にかけて年齢区分とともに割合も高くなる傾向にあり、「65～69歳」では3割弱であるのに対して、「85～89歳」では4割を超える方が主に「1階」で1日を過ごしている。



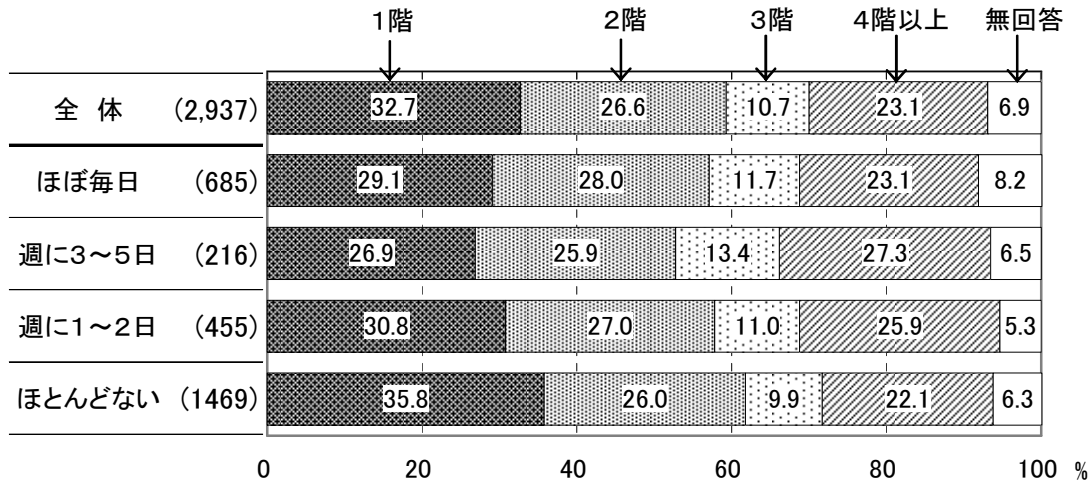
【昨年との外出頻度の比較別／主に過ごしている部屋の階数】

昨年との外出頻度の比較別にみると、主に「1階」で1日を過ごしている割合は、外出の頻度が“減った”や“変わらない”と比較して“増えた”のほうがやや高くなっている。



【日中一人で過ごす頻度別／主に過ごしている部屋の階数】

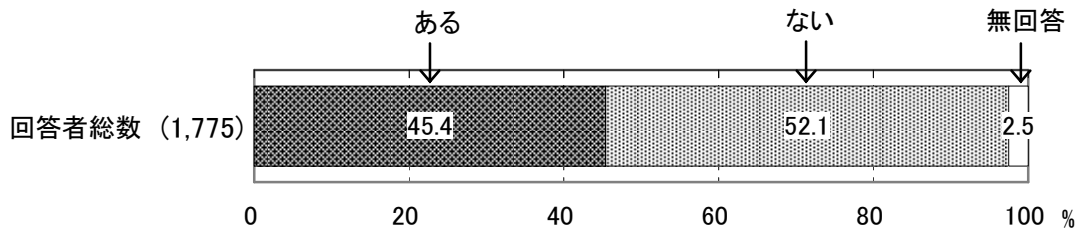
日中一人で過ごす頻度別にみると、一人で過ごすことが“ほとんどない”方の3割半ばが主に「1階」で1日を過ごしており、他と比較して割合が高くなっている。



問7-2 問7-1で「2階」「3階」「4階以上」と答えた方におうかがいします。

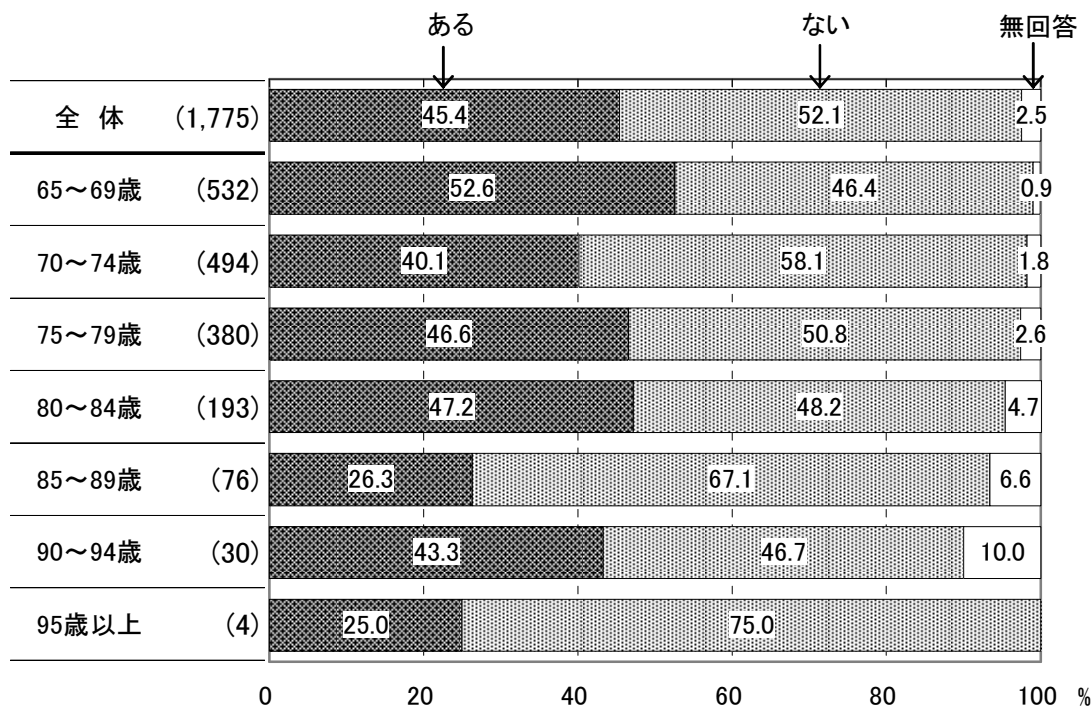
お住まいにエレベーターはありますか。

主に2階以上で過ごしている方の住まいにエレベーターがあるかは、「ある」が45.4%、「ない」が52.1%となっている。



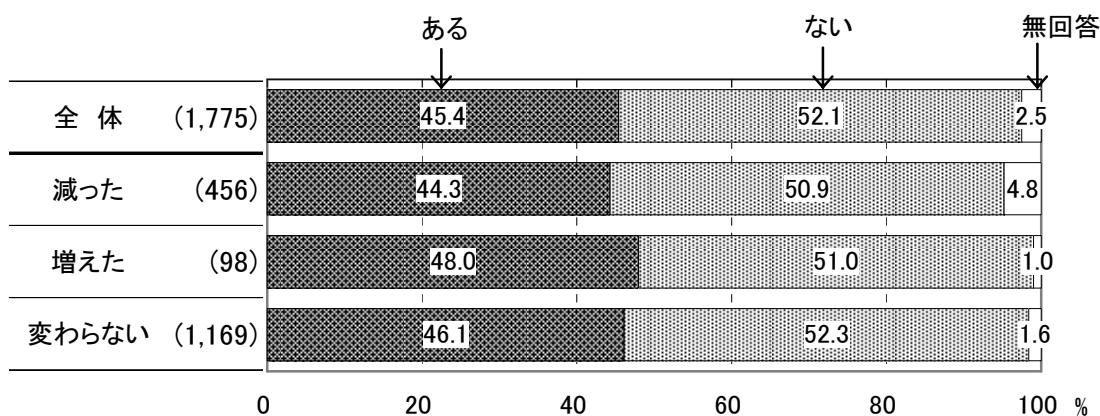
【年齢区分別／エレベーターの有無】

年齢区分別にみると、“65～69歳”の住まいの5割強にエレベーターがあり、他の年齢区分と比べてやや割合が高くなっている。一方、“85～89歳”では、エレベーターのある住まいは2割半ばに止まり、他の年齢区分と比べて割合が低くなっている。



【昨年との外出頻度の比較別／エレベーターの有無】

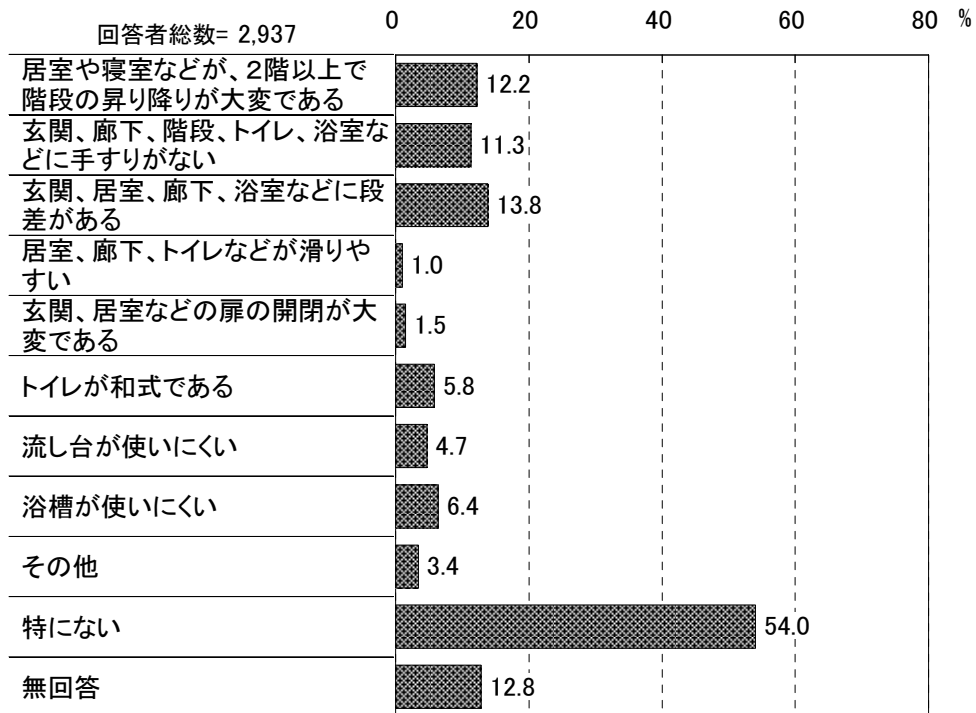
昨年との外出頻度の比較別にみると、エレベーターの有無では特に顕著な差はみられない。



問7-3 お住まいの住宅でお困りのことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

住宅で困っていることは、「玄関、居室、廊下、浴室などに段差がある」が13.8%、「居室や寝室などが、2階以上で階段の昇り降りが大変である」が12.2%、「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」が11.3%などとなっている。困っていることは特にないという方が半数を超えているものの、段差を辛く感じている方や階段昇降を苦にしている方、手すりを必要としている方も1割を超えている。



【年齢区分別／住宅で困っていること】

年齢区分別にみると、階段昇降を苦にしている方や手すりを必要としている方、段差を辛く感じている方は、65歳から89歳にかけて年齢区分とともに割合が高くなる傾向にある。「居室や寝室などが、2階以上で階段の昇り降りが大変である」と「玄関、居室、廊下、浴室などに段差がある」では“65～69歳”が1割前後であるのに対して“85～89歳”では2割弱となっている。また、「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」では“65～69歳”が1割弱であるのに対して“85～89歳”では1割半ばとなっている。

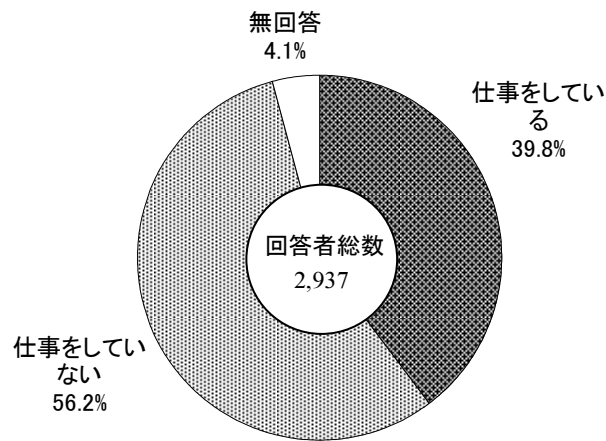
(%)

		階段の昇り降りが大変である	居室や寝室などが、2階以上で	玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない	玄関、廊下、階段、浴室などに段差がある	居室、廊下、トイレなどが滑りやすい	玄関、居室などの扉の開閉が大変である	トイレが和式である	流し台が使いにくい	浴槽が使いにくい	その他	特になし	無回答
全体	2,937	12.2	11.3	13.8	1.0	1.5	5.8	4.7	6.4	3.4	54.0	12.8	
65～69歳	816	9.8	8.5	11.2	1.0	0.9	5.0	4.3	3.8	3.7	61.6	10.8	
70～74歳	810	12.1	11.5	13.2	1.4	2.0	6.9	5.2	7.9	3.1	51.5	14.4	
75～79歳	653	13.3	12.9	14.9	0.8	1.7	6.7	5.7	7.0	3.8	53.0	11.9	
80～84歳	339	13.6	13.9	17.7	0.9	1.2	3.5	3.8	6.2	2.7	51.3	10.9	
85～89歳	151	17.9	13.9	18.5	1.3	0.0	3.3	2.6	5.3	3.3	45.7	13.9	
90～94歳	46	17.4	10.9	13.0	0.0	2.2	6.5	2.2	10.9	2.2	52.2	13.0	
95歳以上	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	

8 就業状況

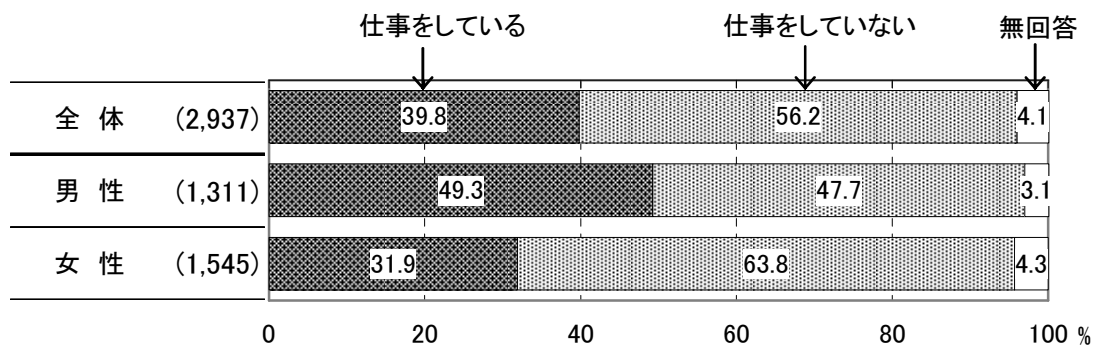
問8 現在、収入のある仕事をしていますか。

就業状況は、「仕事をしている」が39.8%、「仕事をしていない」が56.2%となっている。



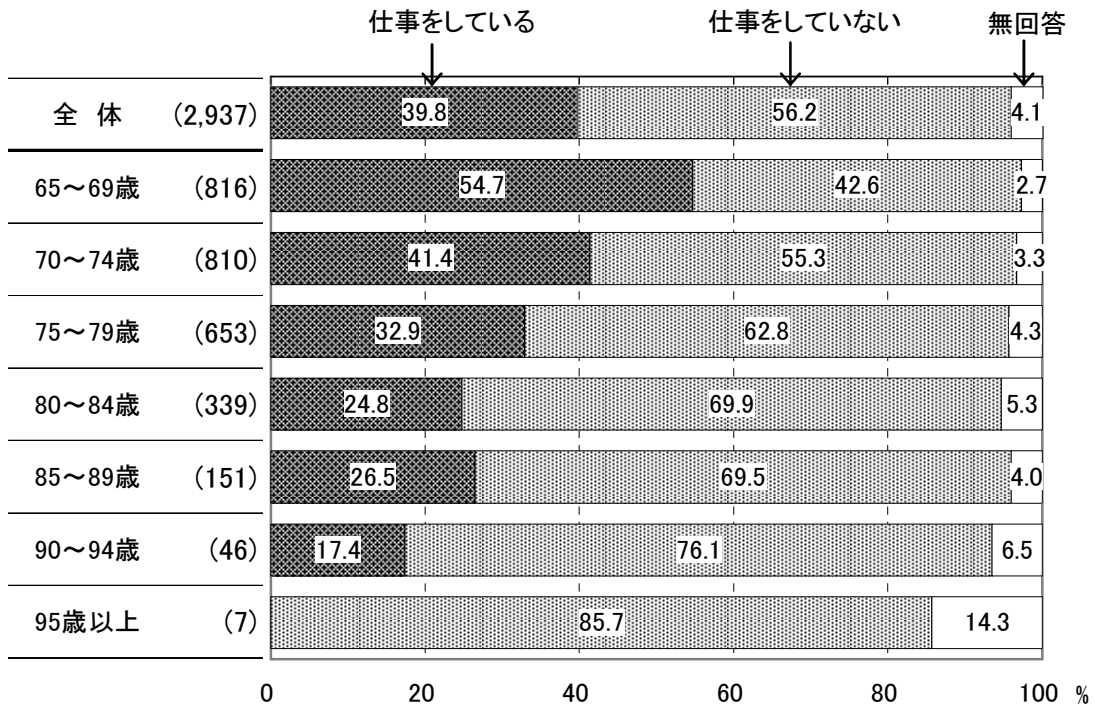
【性別／就業状況】

性別にみると、男性の5割弱が仕事をしており、女性が3割強であるのと比較して就業割合が高くなっている。



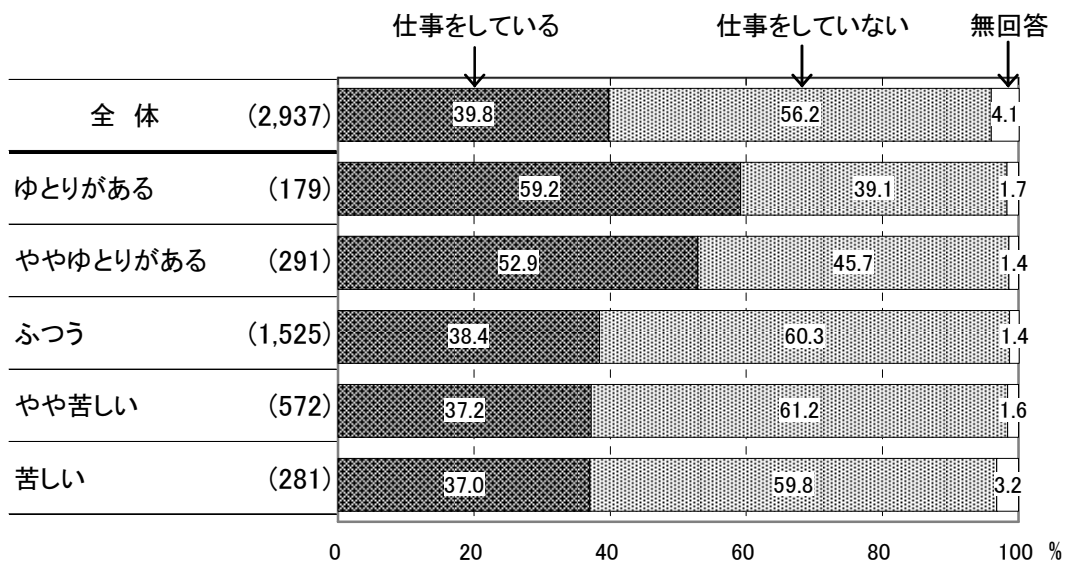
【年齢区分別／就業状況】

年齢区分別にみると、年齢区分が高くなるにつれて仕事をしている方の割合は低くなる傾向にある。



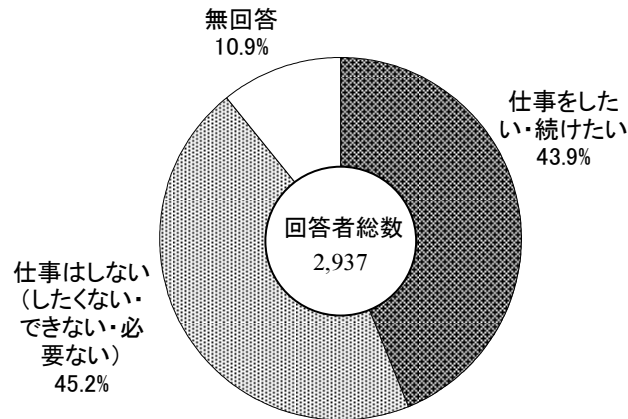
【現在の暮らし向き別／就業状況】

現在の暮らし向き別にみると、“ゆとりがある”の6割弱、“ややゆとりがある”の5割強が仕事をしており、暮らし向きが“ふつう”や“苦しい”と比べて就業割合が高くなっている。



問8-1 今後、仕事をしたい、または、続けたいと思いますか。

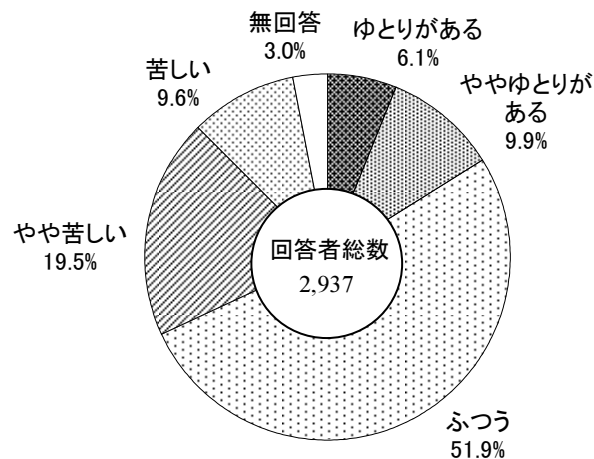
今後の就労意向は、「仕事をしたい・続けたい」が43.9%、「仕事はしない（したくない・できない・必要ない）」が45.2%となっている。



9 現在の暮らし向き

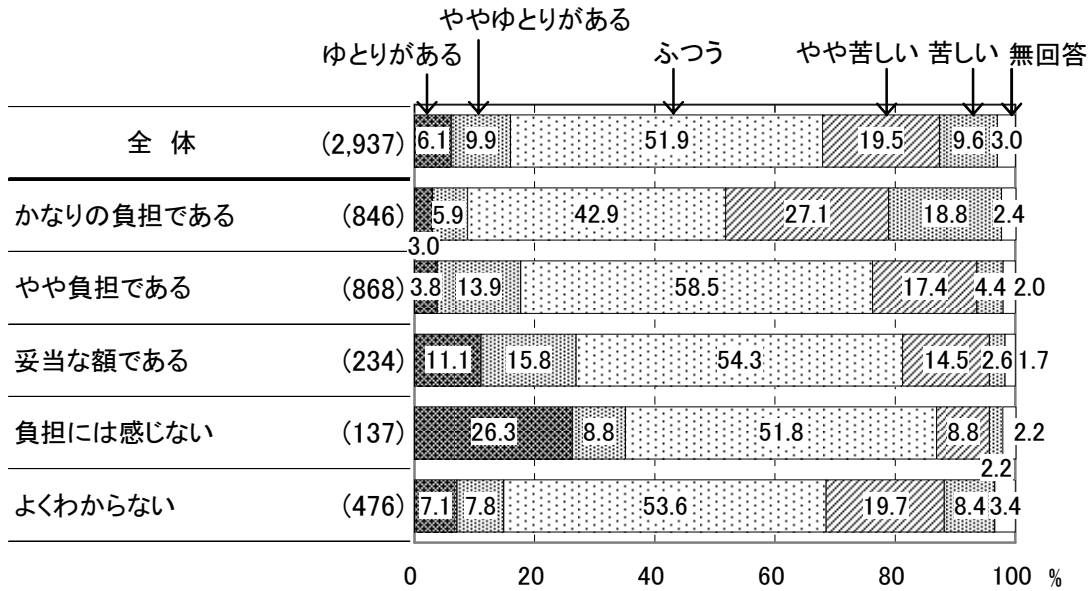
問9 現在の暮らし向きについて、どのように感じていますか。

現在の暮らし向きは、「ゆとりがある」が6.1%、「ややゆとりがある」が9.9%、「ふつう」が51.9%、「やや苦しい」が19.5%、「苦しい」が9.6%となっている。「やや苦しい」と「苦しい」を合わせると、「暮らし向きが苦しい」と感じている方は、ほぼ3割となっている。



【介護保険料額の負担感別／現在の暮らし向き】

介護保険料額の負担感別にみると、負担感が大きいほど暮らし向きが“苦しい”の割合が高く、「やや苦しい」と「苦しい」を合わせると、介護保険料額が“かなり負担である”と感じている方の4割半ばが暮らし向きも苦しいと感じている。



【区独自の介護保険サービスに対する考え方別／現在の暮らし向き】

区独自の介護保険サービスに対する考え方別にみると、“区独自のサービスを充実させるなら保険料が高くなってもよい”と考えているでは、「ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の割合が他と比べて高くなっている。

